会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和４年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回職業実践専門課程普及協議会 |
| 開催日時 | 令和5年2月16日（月）10：30～11:30 |
| 場所 | オンライン |
| 出席者 | 委　　　員：岡村慎一、成底敏、上里政光、新井公一五十部昌克、斎藤昭雄　　　　　　　　　　計6名　　　　　　　　請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　合計8名 |
| 議題等 | 1.各プロジェクト進捗共有(1)体制整備事業（成底）・コンテンツ開発は、情報公開と職業教育のマネジメントをテーマとした2本を作成。私立学校法は作成を見送る形となりました。・セミナーとしては、職業教育のマネジメント・学校の魅力を向上させる情報公開を令和4年11月28・29日に東京で参加者数26名にて実施、また、令和5年1月23・24日に福岡で参加者数24名）にて実施しました。概ね良好な状態ですることが出来ました。アンケート結果等を見ますと小山学園の教育マネジメント部分が参考になってという意見が多く見受けられました。・e-learningには、昨年度開発した10本のコンテンツに今年度開発した2本を加えて12本のコンテンツにて検証を実施しています。具体的な検証ポイントとしては、ビデオの配信環境の確認及びそれぞれの学習を終了した後に行う確認テストの適切性等について検証しているところです。委託事業終了後の4月ぐらいからは運用が開始できると思います。・申請書効率化アプリについては、現在モックの状態でドッカーにて配信し、それぞれの学校で動作の確認を行っています。こちらは3月上旬には出来上がり予定で進行しています。(2)教員研修プログラム開発事業（上里）・学習評価研修プログラム開発は、非認知能力をテーマとして今までにない研修プログラムを開発してまいりました。この研修は、知識や技術のみならず、非認知能力にも着眼しこれを評価することにより担任制を採用している専門学校教育の特性を生かし人材育成をすることを支援するものになりました。この研修に関しては、全専研としても今後継続的に開催していくことをお願いしたいと思います。・ICT活用能力研修プログラム開発は、ICTを利活用して学習進捗が思うように進まない学生のつまずきのポイントを明確にし、教員が伴奏的に学習を進めることを目指しました。最終的なプログラムは2月20日に行われるワーキンググループにて確認し、完成させる予定です。（3）共通基盤整備事業（五十部）・自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】セミナーは、前回報告させていただいた3会場に加えて、大阪とオンラインを追加研修として実施しました。最終的な参加者は200名を超え大変盛況である研修を開催できたことを報告するとともに、自己点検・評価のさらなる普及の必要性を感じています。・第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発と検証は、3校の学校に受審していただくことが出来ました。現在は、書類審査、リモート審査、現地審査の一連の流れが終了し、最終の評価調整をしています。また、アンケートとして、受審校からの意見徴収と審査者からの意見聴取をしているところです。2月20日に最後の委員会を開催することとしていいますので、それまでには取りまとめたいと思っています。・内部質保証人材育成プログラムの開発と検証は、2日間にわたる研修で、1日目として令和4年11月15日にオンラインにて開催し、2日目は、11月25日に福岡で対面研修を実施しました。参加者は告知機関が短かったこと等により10名で少し少なかった気がします。いずれにしても、この人材を専門学校に配置することは専門学校の質保証には重要なことと考えていますので、今後は積極的に人材育成をしていく所存です。（4）質疑応答・私は、途中からの参加となりましたが、大変充実したプロジェクトが出来たと感じました。（斉藤）・斎藤さんと同じで、当校としてもこうした成果物を利用させてもらい質の向上を図っていくことを目指したいです。（新井） |
| 配布資料 |  |

以上